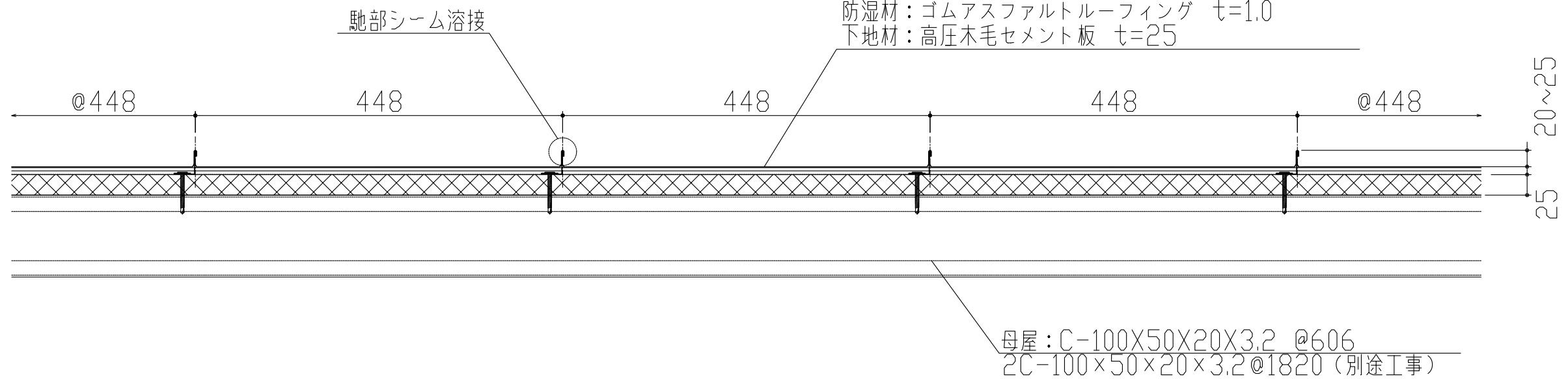
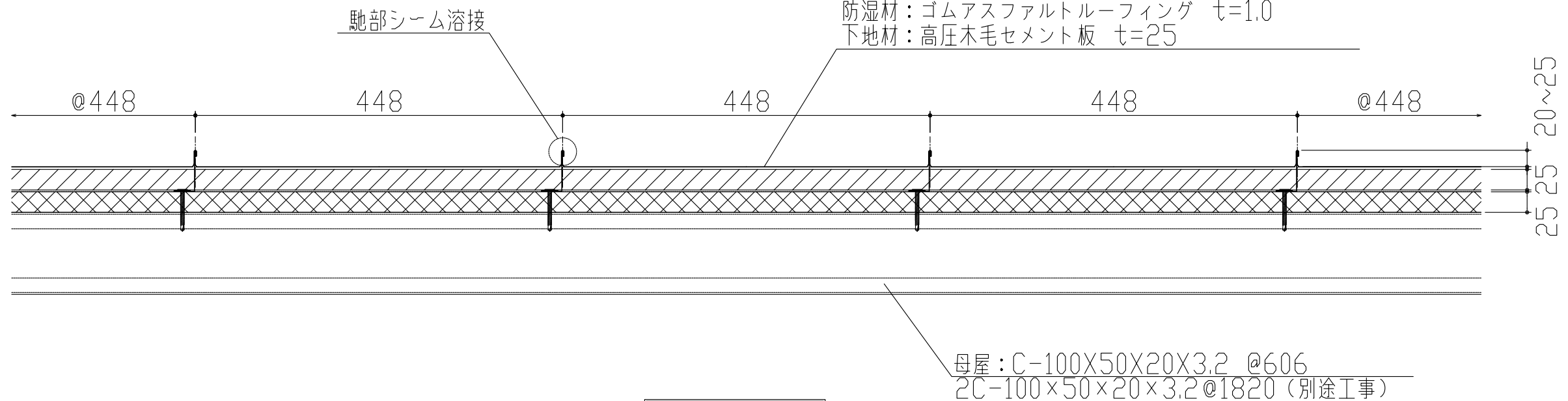


屋根：ステンレスシーム溶接工法（R-T工法）@448  
 フェライト系ステンレス鋼  $t=0.4$   
 緩衝材：発泡ポリエチレンフォーム  $t=4$   
 防湿材：ゴムアスファルトルーフィング  $t=1.0$   
 下地材：高圧木毛セメント板  $t=25$



屋根：ステンレスシーム溶接工法（R-T工法）@448  
 フェライト系ステンレス鋼  $t=0.4$   
 断熱材：硬質イソシアヌレートボード  $t=25$   
 防湿材：ゴムアスファルトルーフィング  $t=1.0$   
 下地材：高圧木毛セメント板  $t=25$

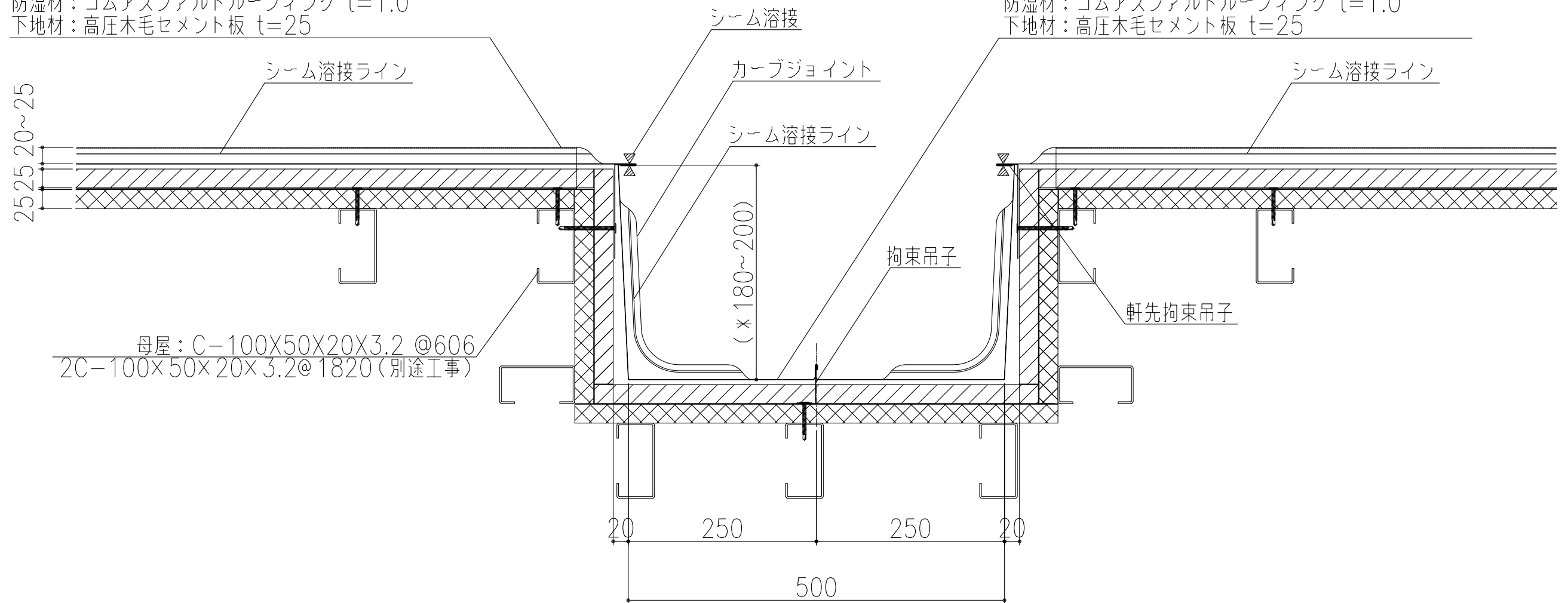


\* 風荷重が $3,923\text{N}/\text{m}^2$  ( $400\text{kg}/\text{m}^2$ ) 以上となる場合は、働き巾を281mmとする。

製品名	R-T工法	図面番号	MR1000
部位	基本断面図	縮尺	S=1/3

屋根：ステンレスシーム溶接工法（R-T工法）@448  
 フェライト系ステンレス鋼 t=0.4  
 断熱材：硬質イソシアヌレートボード t=25  
 防湿材：ゴムアスファルトルーフィング t=1.0  
 下地材：高圧木毛セメント板 t=25

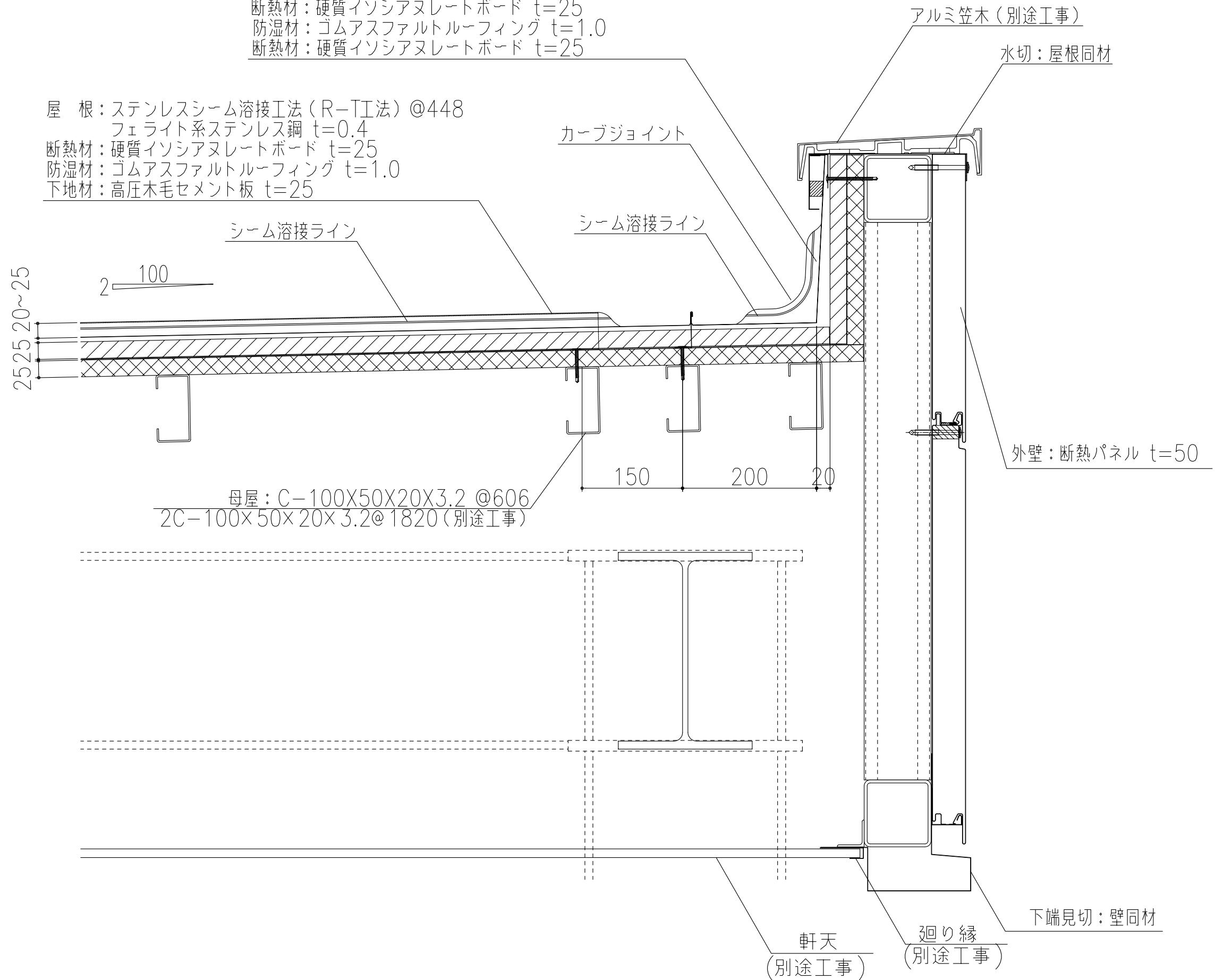
谷樋：ステンレスシーム溶接工法（R-T工法）@448  
 フェライト系ステンレス鋼 t=0.4  
 断熱材：硬質イソシアヌレートボード t=25  
 防湿材：ゴムアスファルトルーフィング t=1.0  
 下地材：高圧木毛セメント板 t=25



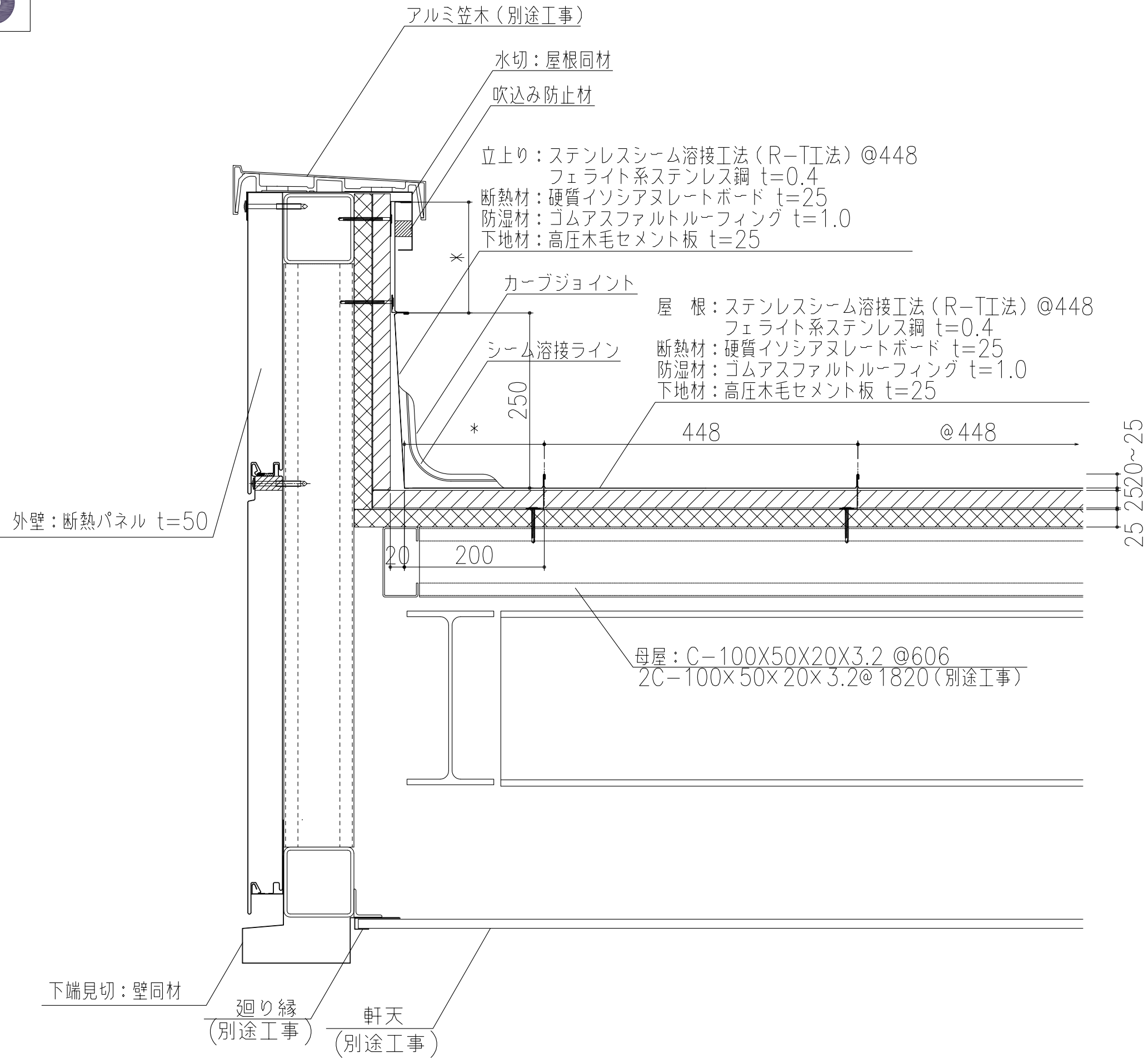
製品名	R-T工法	図面番号	MR1001
部位	谷樋納め	縮尺	S=1/3

立上り：ステンレスシーム溶接工法（R-TI法）@448  
 フェライト系ステンレス鋼 t=0.4  
 断熱材：硬質イソシアヌレートボード t=25  
 防湿材：ゴムアスファルトルーフィング t=1.0  
 断熱材：硬質イソシアヌレートボード t=25

屋根：ステンレスシーム溶接工法（R-TI法）@448  
 フェライト系ステンレス鋼 t=0.4  
 断熱材：硬質イソシアヌレートボード t=25  
 防湿材：ゴムアスファルトルーフィング t=1.0  
 下地材：高圧木毛セメント板 t=25



製品名	R-TI法	図面番号	MR1002
部位	水上納め	縮尺	S=1/3



製品名	R-T工法	図面番号	MR1003
部位	ケラバ納め	縮尺	S=1/3